

上京

史蹟と文化



美を創る



書 吉川 蕉 仙

上京区烏丸通鞍馬口下る内構町

本冊子の「美を創る」のシリーズも号を重ねて三十回を超え、毎回伝統文化や伝統工芸等において卓越した技術をもっておられる区民の方々を紹介してまいりました。上京は本当に文化の底力をもった地域であり、その人材の多さと素晴らしさに今更ながら驚かされます。

今回ご登場願った吉川蕉仙先生もまさしくそのお一人であり、書の第一人者であります。この「美を創る」にご登場いただく機会が遠かったのですが、上京区制一三〇周年記念号発行に際して、本誌の題字を揮毫していただいたご縁があり、今回お願い申し上げ、先生に書の真髄を語っていただくことが実現いたしました。

師走の一日、先生のアトリエで書についてお話を聴かせて頂きました。

私たちは、小さいときから字を習うわけですが、「習字」から「書道」、さらには芸術としての「書」というように、その呼び方も段階的に使分けられています。

白い紙を展ばして一本の線を引いてみると、ただそれだけで白い紙はさまざまに表情を変えることとなります。書の面白さは、線を引いた人間の生き方や、その時々気分など、丸裸の「自分」が出てしま



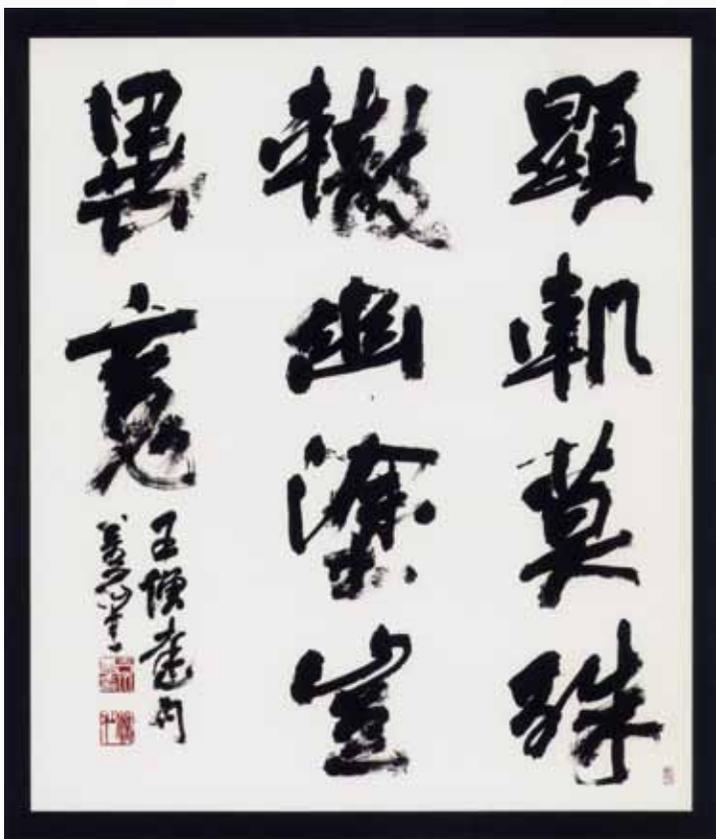
うところにあります。文字の形と線の表情、筆を運ぶ緩急のリズムなどなど、人と技とでもって説得力の強い作品を作ることも可能です。

悠々としたおらかなさを支える余白の緊張感など、一方に偏ることのない力のバランスが書の出来を左右すると考

えられますが、筆と墨の織り成すこの世界はとても面白く、いくらやっても興味は尽きません。

京都は平安の昔から優れた字を書く人が多かったことはよく知られるところです。その流れを汲み、先人の立派な作品に書体や書風などの伝統を学んだ多くの人たちの作品は、やはり説得力が強いですね。この伝統は見逃すことはできません。

年齢のせい、最近では作品の強さだけではなく、穏やかなものの中に深さが欲しいと思うようになってきています。何気なく筆を執った時の確かさと深さが今からの私の課題です。その達成のため、人としての鍛錬を怠ってはいけなさと自らを戒める毎日でもあります。



【轍】(第43回日展第五科(書) 出展作品) (平成23年)

顕軌莫殊轍 顕かなこの世に殊なる轍はない。(礼楽道義に従うのみである。)
幽深異言 幽界の途には人は皆一様な靈魂となつて行くのみである。

(六朝(宋) 王僧達和琅琊王依古詩)

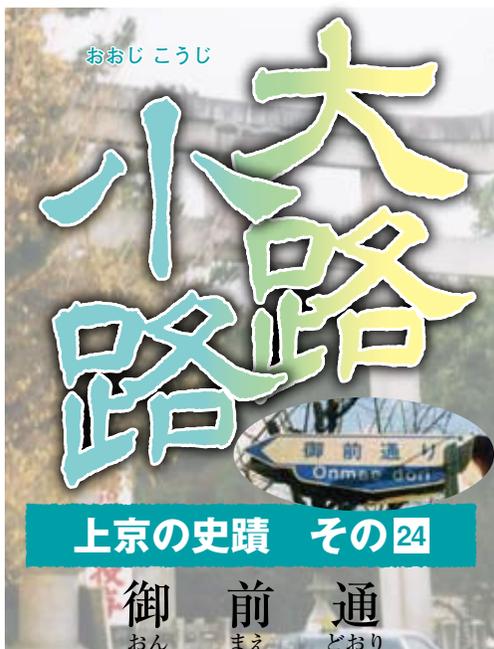
本誌の題字「上京 史蹟と文化」を揮毫していただいた吉川蕉仙先生に書の真髄を語ってもらいました。先生は京都学芸大学(現京都教育大学)に学ばれ、学生時代から日展に入選入賞を重ねられ、平成十九年には日展の内閣総理大臣賞を受賞されました。現在は京都橘大学名誉教授、日展監事、京都書作家協会顧問など書道界の重鎮として活躍しておられます。

写真 森下忠夫

御前通

上京区にある御前通は北野天満宮の参道にあたりますが、ほかにも同じ通り名があります。今ではもう忘れられています。それは本願寺の御前通なのです。江戸時代からの京の通り名を唱った歌の横通りに「花の御前北七条」という歌詞があります。花は花屋町、御前はそのまま、北は北小路、その先が七条です。この御前通は正面通とも呼ばれました。正面通は

の御前通かと思われる。平安京では右京の西大宮大路に当たり、大内裏の西を限る八丈（二十四メートル）の大路の名残りですが、これも本来は一条大路以南のことです。それも平安時代の中期になると退転します。この



東山の方広寺大仏と東・西本願寺に通じました。現在の御前通は北は北大路通から始まり、南は九条通を越えたあたりまで約七・一キロに及びます。その内、上京区に属する

あたりは北野の森とよばれるようになりませんが、今の北野天満宮の北方には平安京の北郊として乳牛院が設けられていました。乳牛が置かれ、飼牛から搾った牛乳が御料に供せられていたのです。凝縮して「蘇」に加工して、儀式に供せられたのでしょうか。今でいうチーズなのです。平安時代に牛の牧場があったという証拠といえましょう。

北野の森に菅原道真を祀ったのが北野天満宮です。ここは馬



北野天満宮

いつも新しい感動を



京都ブライトンホテルは京都御所の西、閑静な住宅街にあります。ここは、千利休や武者小路千家官休庵に代表される茶の湯文化の中心地。この場所にふさわしく、新しい文化発信基地となるようよりよい商品とサービスを提供し続けてまいります。



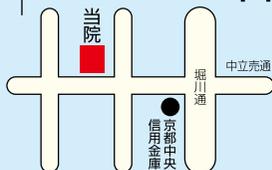
京都ブライトンホテル

〒602-8071 京都市上京区新町通中立売(御所西)
Tel.075-441-4411(代) Fax.075-431-2360
<http://www.brightonhotels.co.jp/kyoto/>

耳鼻咽喉科 鈴木医院

京都市上京区中立売通堀川西入
441-0675

診察時間 午前9時～12時
午後4時半～7時半



	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	×	○	○	×
午後	○	○	○	×	○	×	×

祝休診



露乃五郎兵衛碑

喰町ろちやうといい、かつて馬場や牧場があったことに由来するようです。境内の参道と御前通の間が右近の馬場で、天正十五年（一五八七）十月一日、豊臣秀吉が自ら亭主となって大茶会が行われたところでは、秀吉は九州の平定と聚楽第の完成を祝って、各所に立てた高札に「茶湯執心の者は釜一つ、茶碗一つ、焦がしを持参す



北野大茶湯之址碑と太閤井戸

るだけでよい、茶席がなければ筵敷きでもよい」と参加を呼びかけました。拝殿の中央に三畳敷の黄金の茶屋を組み立て、千利休・津

田宗及・今井宗久らが四畳半の席を設け、境内には千五、六百軒もの数寄屋や茶屋が建てられました。その跡には「北野大茶湯之

址」の石碑があり、太閤井戸も残っています。

一の鳥居を入ったところにある影向の松の傍らには「人艸ひとくさや来た野の露乃五郎兵衛」の石碑があります。露乃五郎兵衛は江戸時代の延宝・天和の頃（一六七三～一六八四）、北野天満宮や祇園、四条河原などで自作の笑いはなしを自演し、都の人気を一身に集め、上方落語の祖とされます。それを記念して縁りの地に二代目露の五郎（後の五郎兵衛）師が平成十一年に建立したものです。

旧平安道場

今出川通を挟んだ向い側には上京警察署の庁舎がありますが、元はここも北野天満宮の境内地で下ノ森に一の鳥居がありました。市電を通すために今出川通が新設され、境内が分断されたのです。堀川通から中立売通を走ってきた狭軌の北野電車線の終点でした。

上京警察署の南一帯は警察関係の宿舎が建ち並んでいます。その中央に柔剣道場として親しまれてきた平安道場がありました。大正三年に岡崎の武徳殿（重要文化財）を模して警察関係の武道場として建てられましたが、近年老朽化が目立ち廃止されました。幼い頃、剣道具を手に通われた思い出を持つ方も多いことかと思えます。昨年ことしの二月に解体され、その後が注目されていましたが、最近





① 御前通の古民家（今出川下る）

の新聞報道で、青蓮院が引き取り将軍塚に移築再建されることを知りました。失われかけた文化財が再び生命を得たことに京都ならではの感々を深くしました。

この一廓の西側が御前通になります。現在、本門佛立宗の会館とさらに西にある金融機関のある場所がかつて京福電鉄の北野線が走っていたとき、その起点の北野駅があったところですが、今では忘れ去られています。今出川通の新設によって西大路通までの間が

廃線となり、今の北野白梅町駅が起点となりました。

数多い寺院

今出川通から南の御前通には古い道筋が残り、安産地藏尊で知られる淨香庵をはじめ、多くの寺院が散在しています。如意輪観音堂のある回向院の観音像は寛永五年（一六二八）八月十八日に丹後の海中より発見された二体の内の一つだとされ、もう一体は善福寺に安置されています。また、江戸時代の画家で円山応挙の弟子として「奇は新なり」と評された長沢芦雪は寛政十一年（一七九九）に大阪で亡くなり、その地にも墓石が残っていますが、回向院の墓地にも墓があり、その子孫の芦洲・芦鳳も葬られています。

一条通を下がると、昭和九年創立の北野幼稚園があります。園児たちは敷地内の萬松寺本堂へ参拝し、はなまつり等の行事を行って

います。萬松寺の南には、東光寺、法華寺、超圓寺、乾窓院が連なっています。

妙心寺道の北に導故寺があります。入口は狭いのですが、奥は広い境内になっています。その参道の両側にはクロマツの並木が緑のトンネルになり、深みのある松の緑が寺の入口の落ちついた景観をつくり上げています。昭和初期に植えられた本堂前のアオギリとともに「上京区民の誇りの木」に選定されています。

平安宮の遺跡

御前通の東側は平安宮（大内裏）になります。このあたりは開発が進んでいないために、その遺跡はあまり見つかっていません。しかし平安宮の門や役所の位置はだいたいわかっていますから、この場所にかつてこんな建物があったということは言えます。

門は北から上西門、殷富門、藻

新・古茶道美術品

清昌堂
やました

京都店・京都市上京区小川通寺ノ内上ル

〒602-0061 TEL (075) 431-1366

FAX (075) 431-1370

東京店・東京都新宿区市谷甲良町1-8

〒162-0856 TEL (03) 5261-4566

FAX (03) 3235-5677

柔道圓心道場

〒602-0014
京都市上京区室町通寺之内上ル下柳原北半町 210
TEL (075) 441-1968 / FAX (075) 441-2972

山崎接骨院

〒602-0898
京都市上京区烏丸通寺之内西上ル相国寺西門前町 647
TEL (075) 451-6050 / FAX (075) 451-6051

<http://www.enshin.sakura.ne.jp/>



② 導故寺

壁門があり、その内側には漆堂、正親司、右近衛府、右兵衛府、内匠寮がありました。宮殿といえるような建物は無かったようです。

西大宮大路は早くに廃絶しますが、上京区に属する部分は御前通として復活します。丸太町通あたりから南は畑地や藪地と化してしまいました。が、市街地の拡大により明治以降、新しい御前通が回復し南伸して、九条



③ 御前通の古民家（丸太町上る）

通の先まで、平安京の西大宮大路が復活して今に至るのです。

（出雲路敬直）

しみじみと心のかよう 贈りもの

<http://www.toraya-group.co.jp/>

徳とらや

¥2,500で食べ放題+¥480で飲み放題!!

プランディアのディナーbuffet

"PRANDIA" DINNER BUFFET

京都ロイヤルホテル&スパ1階のレストラン"プランディア"のディナーbuffetがリニューアル!! 人気のローストビーフのカットを含み約30種類のお料理が食べ放題で¥2,500、さらに4種類のアルコール飲み放題が+¥480。両方あわせてもお1人様¥2,980!! ぜひお気軽にご利用ください!!

毎日 17:30~21:00 (90分制:17:30~/18:00~/19:30~)

お1人様 食べ放題 ¥2,500 & 飲み放題 ¥480

※表記料金にはすべて税金・サービス料を含んでおります ※ご予約優先

ご予約・お問合せ: レストラン"プランディア" Tel.075-223-8973 (直通)

地下鉄京都市役所前駅から徒歩で約1分

京都ロイヤルホテル&スパ

冷泉家と御所

(其の一)



公益財団法人冷泉家時雨亭文庫

常務理事 冷泉貴実子

京都は千二百年も続く都である、と書くと「ナクヨ篤平安京」と覚えたように、七九四年に遷都

された平安京が、現在の京都にそのままつながっているような錯覚に陥るが、平安京は今の京域よりずっと西にあり、御所も現在の千本丸太町のあたりにあったことは、周知のことである。

平安京の西の部分は早くから廃れ、東側に発展していくと共に、御所も九六〇年に焼亡したまま、正式なものとは造られなかった。その後、京は応仁の乱で焼け野原と

なってしまう。今の京都の原型を作ったのは秀吉である。

秀吉は、京に今見るような碁盤割りを行い、周辺を御土居で囲み、自分の邸宅として聚楽第を作り、寺町や寺之内に寺を集めて、都市を建設した。その一環として、現在ある御所の地に御所を造った。この政策は、徳川幕府に受け継がれ、やがて現在の仙洞御所の地に上皇のための仙洞御所が整えられた。

この二つの御所を中心にして、応仁の乱を避けて全国に散らばっていた、平安時代から続く貴族の

末裔、すなわち公家衆達に、同心円的に屋敷地を与え、上京に公家街を形成したのである。

冷泉家も、その一連の動きの中で、慶長十一年（一六〇六）烏丸今出川東入ルの現在地に移った。

掲載した御所周辺の地図は、宝永五年（一七〇八）に出版され、天保八年（一八三七）に改訂されたものであるが、江戸時代を通じて、ほぼこのような姿であったと考えてよい。

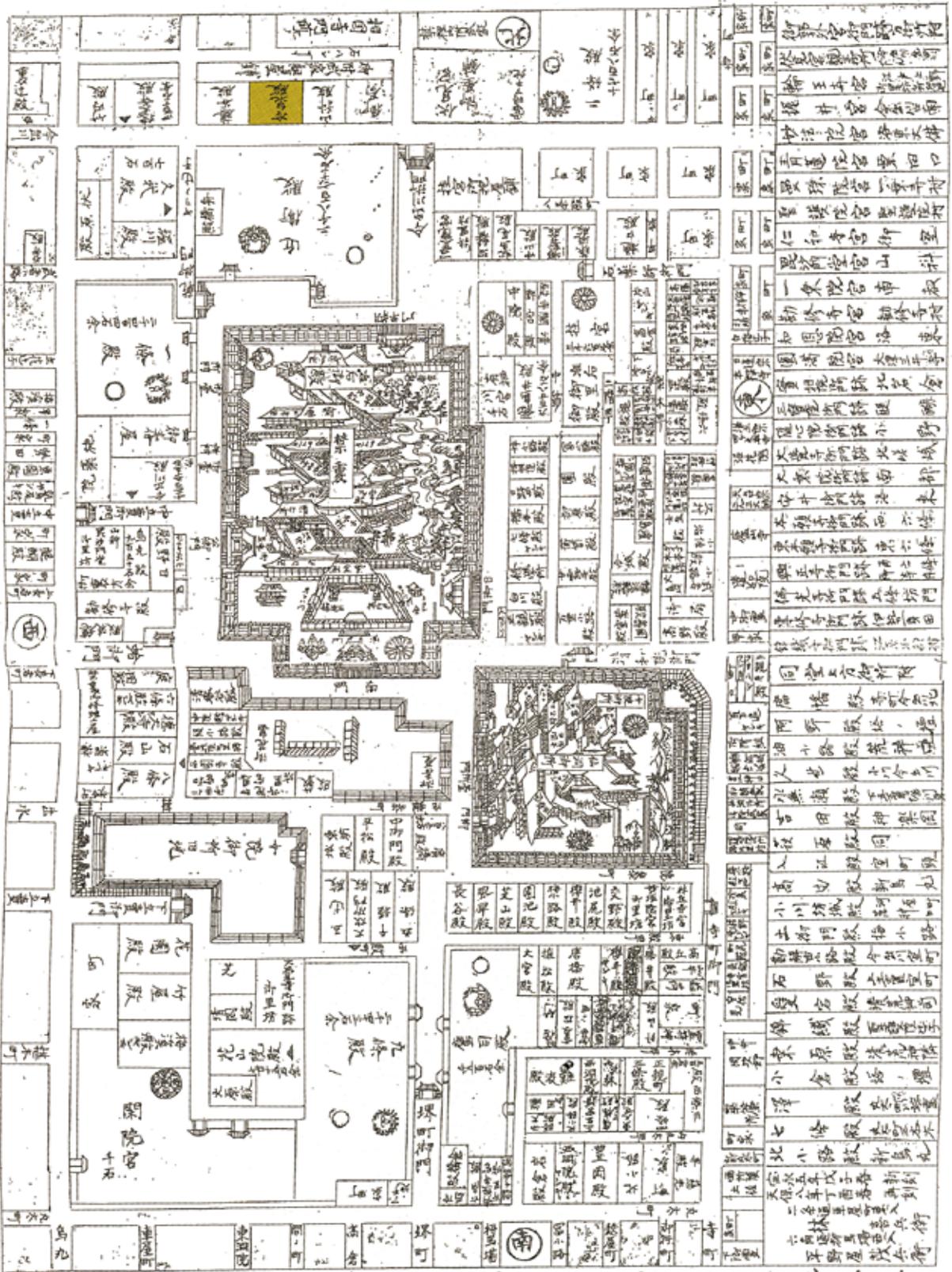
まず今出川御門の西側にある大きな敷地近衛殿から見る。その西

南に一條殿、丸太町から堺町御門の両側に九條殿と鷹司殿、さらにずっと北へ目を移し、現在の同志社女子大学がある辺りに二條殿。この〇印のある五つの屋敷が、五摂家。この家を中心にしてその間に大小の公家屋敷が並んだ。

次に御所の九門きゅうもんを見る。今出川御門は現在と同じ位置に、乾御門は近衛家と一條家の間に、中立売御門は現在地に、そして蛤御門はなんと南に向かって立っている。下立売御門と堺町御門は現在地よりずい分、御所側へ寄っている。寺町御門は現在地と同じだが、清和院御門は蛤御門のように南面している。石薬師御門も現在地より中心に寄っている。

つまり江戸時代は、現在御苑を囲む石垣がなく、公家屋敷の築地堀と築地堀の間に、御門が立っていたのである。

寺町通の東側に並んでいる名前は、この公家街の外に屋敷があった公家衆である。



○印御探家方 △印御華族方 若改修儀有之九好知下子皇太子馬邊古徳中

京都御所周辺 (江戸時代)

上京の埋蔵文化財

相国寺旧境内の発掘調査

はじめに

烏丸通寺之内の東側では、同志社大学による烏丸キャンパス新棟の建設が着々と進んでいます。この場所は、長年市民に親しまれてきた染織試験場があったところです。この地は、相国寺の旧境内の中に含まれていることから、新キャンパス建設工事に先立ち、発掘調査を行いました。今回はその調査についてお話しします。

相国寺について

相国寺は、京都御所の北に敷地約四万坪の面積を占める禅宗寺院です。寺は、室町幕府第三代将軍足利義満の発願により、永徳二年（一三八二）に創建されました。室

文明の乱の際には、細川勝元の陣が置かれたこともあり、そのおろりで伽藍はほとんど焼失してしまっています。寺は罹災の度に再建・復興されましたが、現代に残る最も古い建造物は、重要文化財に指定されている法堂で、慶長十年（一六〇五）に豊臣秀頼の寄進によって完成したものです。仏殿は天文二十年（一五五二）の戦火で、山門は天明八年（一七八八）の大

火で炎上し、ついに再建されることはなく、今は赤松林の中にわずかに基壇の高まりや礎石が残っているだけです。

調査の場所

発掘調査対象地は江戸時代の絵図にあてはめると、塔頭の一つ「普廣院」の敷地にあたります。

普廣院は、もとは乾徳院と称し、応永八年（一四〇一）に創建されましたが、室町幕府第六代将軍足利義教の墓所となった時に普廣院と名を改めています。創建から大

正九年に現在地（放生池の北西）に移設されるまで、相国寺山内の北西部に広大な敷地を占めていました。

調査の成果

今回の発掘調査は、平成二十三年一月から始まり、六月末で終了しました。

調査で発見した遺構を時代の古い順に紹介していきます。

鎌倉時代の遺構

調査区中央部で大きな溝や石組み井戸などを発見しました。今回の調査で見つかった最も古い時代の遺構です。溝は、その形状から宅地を区切る溝と考えられ、当地は居住地であったことを示しています。これは、相国寺を造る際の史料に「近辺の住居を遷し」とあることとも一致します。発見した溝や井戸の規模が大きいことや高級な輸入陶磁器が数多く出土したことなどから、この地には有力な人々が住んでいたと考えられます。

十八年前に行った北側の烏丸中学校内での発掘調査では、平安時代の溝を発見しており、今回の発見と合わせて、相国寺創建以前のこの地の土地利用の様子がわかりました。

室町時代前期の遺構

相国寺創建段階のもので、調査区東部で、大きさ三〜五cmの礫



写真1 礫敷面（道路遺構）

を敷き詰めた堅く締まる面（礫敷面）を東西幅約4mで南北に十六mにわたって発見しました（写真1）。礫敷面の厚さは二〜六cmあり、それが何層か重なっている箇所もありました。各礫敷面の間には粗い砂が薄く堆積していました。砂をまず入れた後、礫を入れて堅く突き固めるといふ作業をして、

何度も補修しているものでもありました。

さて、この調査地の二五〇m南側の今出川キャンパス新校舎建設地内でも、昨年度、同志社大学により発掘調査が行われています。その調査で、相国寺創建時に造られた大規模な南北方向の水路やその堤上で道路状の礫敷遺構が発見されました。その道路状礫敷遺構の状況は、今回発見した礫敷面と構造的に非常によく似ています。そこで、この二つの遺構を地図上に落とし

てみると、一直線につながるものがわかりました。そのため、この礫敷面は「道路」であると考えられます。また、この道路の示す方位は真北を指さず、ほんの少し東に傾きます。この傾きは、相国寺の中心建物を縦につなぐ線の傾きとほぼ同じであり、相国寺創建期の西側を限る道路である可能性がでてきました。

なお、今出川キャンパス内での発掘調査については、本誌第四十一号で同志社大学歴史資料館の浜中邦弘准教授が詳しく述べておられます。

室町時代中期の遺構

調査区西部で南北に延びる溝を発見しました。規模は、東西幅約二m、全長約四〇m、深さ約〇・六〜一mありました。この溝には十五世紀後半の焼け焦げた瓦や土



写真2 室町時代後期から戦国時代の堀

器・焼け土が埋まっていました。ちようどの頃、応仁・文明の乱が起こっており、この溝は、激しい戦闘の状況を物語っているのではないのでしょうか。

室町時代後期から戦国時代の遺構

調査区東部と西部で、大規模な堀を数本発見しました（写真2）。



写真3 伊万里産大皿

そのうちの一つの堀は、東西幅約三・五m、深さ約一・八mのもので、南北約八〇mにわたり検出しました。堀に埋まっていた土を観察すると、自然に埋まった堆積状況を示すものではありませんでした。また、底部付近に水の存在を

約一・三m、全長約二十五m、断面はV字形をしています。この堀も、短期間の内に埋め戻されています。この堀の北側には等間隔で柱の跡が並んでいました。堀の北側には堀もしくは柵のようなものがあり、南側には堀を開削した時

伺わせる細かい砂や粘土も堆積しておらず、どうやら短期間の内に埋め戻されたものとみられます。

この堀からは、桐文軒丸瓦が出土しました。桐文家の家紋の一つで、足利家との深いつながりを伺わせてくれます。

他にも調査区中央部では東西方向の堀を発見しました。この堀は南へ直角に曲がります。規模は、幅約一・二m、深さ

の土を盛り上げていたとみられます。

以上のような堀は、前述の烏丸中学校内や今出川キャンパス内の調査、それに三十四年前に行った現京都産業大学附属中学・高等学校内での調査でも発見しており、この地域一帯にこのような堀が多く造られていたことがわかりました。天文五年（一五三六）には天文法華の乱が起こっており、同年の相国寺に関連した史料には「東門前に堀構えを整える」とあります。寺の周辺に防御用の堀が造られたのです。発見した遺構はこれらの施設に関連すると考えられ、当時の緊迫した様子が伺えます。

江戸時代の遺構

石組の地下蔵（当時の地下収納庫）や井戸などが増えます。井戸は比較的規模の大きいものが多く、出土する遺物には丹波産播鉢、瀬戸産黄釉椀（いわゆる黄瀬戸）や伊万里産大皿（写真3）などがあります。この地が、再び塔頭とし

て使われるようになったためでしょう。しかしながら、この時代にも何度か火災に遭っています。特に元和六年（一六二〇）と天明八年（一七八八）の大火ではこの

一帯も甚大な被害を受けており、真つ赤に焼けた土の面や、焼けただれた瓦や陶磁器の詰まった大きな瓦礫処理用の穴が点在していました。調査区内の最も烏丸通に近い場所では、江戸時代後期のごみ捨て穴がみつかりました。町屋の

歴史文字シリーズ



伝 達 浪 漫

紀元前3000年頃。パンのシンボルが描かれ、食料配給の割り当てが記録されている。

和光印刷株式会社

〒602-0012 京都・烏丸通上御霊前上ル TEL.075-441-5408代
E-mail:info@wako-print.co.jp



写真4 発掘調査全景（西北から）

裏側に設けられたものとみられます。このごみ捨て穴を詳しく調べることにより、当時の人々の生活がどのようなものであったのかや、烏丸通がいつごろ北へ延長されてきたのかを知ることができます。

まとめ

今回は広大な寺域を持った相国寺のごく一部の調査でしたが、地下には鎌倉時代から江戸時代の遺構が良好に残っていることがわかってきました（写真4）。今後、周辺の調査が進めば、寺内の塔頭の位置や規模などの実態がより明らかになることでしょう。

また、相国寺創建前は居住地となっており、平安京の外側にありながら有力者の住居があったこともわかりました。平安時代以降、上京のまちが北へと広がっていく様子がわかる貴重な成果を得ることができました。

（財団法人京都市埋蔵文化財研究所

主任 モンペティ恭代）

永年の信用
まごころのご奉仕

葬祭センター

公益社

本社／京都市中京区烏丸通三条下ル ☎075(221)4000
フリーダイヤル ☎0120-00-4200 <http://www.koekisha-kyoto.com>

◆ 葬儀 式 場 ◆

北プライトホール（堀川紫明）京都市北区紫明通堀川東入 ☎075(414)0420
中央プライトホール（五条大和大路）京都市東山区五条通大和大路 ☎075(551)5555
南プライトホール（堀川八条）京都市南区堀川通八条下西側 ☎075(662)0042
西プライトホール（五条西大路）京都市右京区五条通西大路西入南側 ☎075(322)0042
烏丸プライトホール（因幡斎師）京都市下京区烏丸高辻南入東入 ☎075(351)7724
宇治プライトホール（宇治横島）宇治市横島町（京都文教大学前） ☎0774(20)0042
滋賀プライトホール（大津）大津市朝日が丘1丁目 ☎077(523)0042



みんなで花を咲かそう活動

昨年11月、日頃から熱心に水やりや手入れを続けているボランティアの皆さんの手によって、上京区役所玄関前の草花が冬の装いとなりました。

色とりどりに咲くピオラやガーデンシクラメンのほか、トピアリーフレームが設置されたゴールドクレストも、ウサギやクマなどの愛らしい姿で来庁者の目を楽しませています。

園芸や環境に興味があり、継続して草花の手入れをしていた方は、お気軽に区役所まちづくり推進課まで御連絡ください。

区役所まちづくり推進課（電話441-5040）



十一月十三日、毎秋恒例の「上京茶会」が、北野天満宮 明月舎にて、裏千家による懸釜で開催されました。
前年に好評だったことにより、引き続き会場となった北野天満宮は、区民の皆さんから「天神さん」の愛

称で広く親しまれているだけでなく、豊臣秀吉により北野大茶会が開催されたことでも有名であり、それを起源とした献茶祭が現在でも続けられているなど茶の湯文化にも馴染み深いところです。今回も多くの方々が来場され、色づき始めた紅葉のもと、風情豊かなお茶を楽しみました。

上京茶会



台風の接近による悪天候が心配されたため、屋内での上演となりましたが、幽玄の世界に多くの来場者が魅了されました。

第四十七回目を迎えた「上京薪能」が、九月二十日、金剛能楽堂で開催されました。第一部では、各社中による舞囃子、仕舞、箏演奏が披露され、第二部では、いちひめ雅楽会舞楽「蘇利古」、宮城社・麻ノ会箏演奏「飛鳥の夢」、金剛流舞囃子「野守」、大蔵流狂言「清水」、観世流能「通小町」などが上演されました。

上京薪能

ウォーキングイベント

「上京を歩く日」

11月27日、「上京を歩く日」が秋晴れの陽気の中、開催されました。「史蹟を巡ってまちの良さを再発見コース」、「湯ったり健康ウォークショートコース」、「和菓子ツアー」、考古資料館による「史跡ウォーク」という趣きの異なる4つのコースからお好きなコースを選んでいただいた約200名の参加者は、歴史や文化を感じながら各コースを歩きました。菅原院天満宮、堀川のせせらぎを歩いた方々は、橘公園で楽しく健康体操をした後、仁和まちなかを



巡って北野天満宮まで歩くコースとゆつたりとお湯につかるコースに分かれました。「和菓子ツアー」では、和菓子を中心に上京区にまつわるクイズに答えながら散策しました。



上京区民ふれあいまつり2011



「上京区民ふれあいまつり2011」が、10月23日に新町小学校で開催されました。

各学区・団体による模擬店では、天ぷらうどんなどの飲食模擬店やスーパーボールすくいなどのあそびコーナー、啓発・PRコーナーで大盛況でした。

また特設ステージでは、上京中学校吹奏楽部の生徒たちによるさわやかで力強い演奏が来場者を魅了しました。かみぎゆうくんはもちろん、エコちゃん、パーサくん、都くん、まゆまるも登場し、子どもからお年寄りまでたくさんの方々が集う楽しいおまつりとなりました。



宴会・婚礼・会議
宿泊・レストラン

あじわい

¥5,000(税別)

ホテル

ルビノ京都堀川

〒602-8056 京都市上京区東堀川通下長者町
TEL 075-432-6161(代) FAX 075-432-6160
<http://www.rubino.gr.jp/>



レストラン

11:30~14:00

毎週日曜日はお得な
ランチバイキングを
しております

おひとり

¥1,500(税込)

<http://www.hanakobo.co.jp>

フリーダイヤル 0120-46-8700



大切な方への御供えのお花、お誕生日、御祝のお花、
結婚式のブーケなど心に残る記念日を
お花で彩るお手伝いをさせていただきます。

花工房 京都本店 京都市丸鳥通今出川下ル
TEL 075-414-8700 FAX 075-414-7787

「上京・史蹟と文化」は上京区役所まちづくり推進課で販売致しております。(TEL 441-5040)
また、上京区役所のホームページで御覧いただけます。

元祖

ぼたん鍋と
京料理

畑かく

京・上御霊前烏丸西

☎〇七五・四四一・〇六二〇代



酢一筋の商い、伝統の滋味。

きのう 伝統から未来へ

京・西陣 孝太郎の酢

(有) 林孝太郎造酢

京都市上京区新町寺ノ内上ル東入道正町455
TEL (075) 451-2071
FAX (075) 451-8028



創立以来七十七年に
わたって、
和やかな家庭的な
雰囲気にもまれつつ
就学前教育の
本流をめざして、
保育を続けて
参りました。
幼児たちは
楽しい遊びを通して、
人生に必要な生きる
力のすべてを手に入れます。

学校法人 北野幼稚園

京都市上京区御前通一条下る (北野天満宮バス停下車南100m)

TEL.463-0111(代)

http://homepage3.nifty.com/kyotokitano_k/

京料理

はる
かみ

春日神

営業時間
昼：十二時～十五時
(ラストオーダー十四時)
夜：十七時～二十時
(ラストオーダー二十二時)
夜はアラカルトメニューもございます。
夜はアラカルトメニューもございます。
千六〇四一八〇二四
京都市中京区先斗町四条上ル十メートル路西側
電話〇七五二二二二一〇〇一
FAX〇七五二二二二一〇〇一



ふれあって 住民の知恵を生かした 地域づくり

—お隣り同士のふれあいを大切に—

春日学区では、「自治」「福祉」「防災」を
三位一体とした地域活動を展開しています。

NPO 法人 春日住民福祉協議会



- 神学部
- 文学部
- 社会学部
- 法学部
- 経済学部
- 商学部
- 政策学部
- 文化情報学部
- 理工学部
- 生命医科学部
- スポーツ健康科学部
- 心理学部
- グローバル・コミュニケーション学部



Doshisha University
同志社大学
<http://www.doshisha.ac.jp/>

お問合せ先 同志社大学 企画部 広報課 TEL:(075)251-3120

社会福祉法人市原寮

か ゆ う 花友じゅらくだい

京都市上京区中立売通智恵光院西入多門町 445-4
(智恵光院中立売バス停前)

Tel (075)451-6000 Fax (075)451-7770

花友じゅらくだいデイサービス

Tel (075)451-6015

ホームヘルパー養成校
食育文化サロン
福祉・医療国際研究センター

<http://www.itihara.or.jp>



名物ゆどうふ
南禅寺 **ゆどうふ**
JUNSEI

左京区南禅寺門前 電話 075-761-2311
<http://www.to-fu.co.jp>

CH
A
n
o
K
A

お濃茶ラングドシヤ

茶の葉

OKOICHA
LANGUE DE CHAT

MALEBRANCHE
京都 北山

京都限定

洋菓子 マールブランシュ 北山本店

〒603-8053 京都市北区北山通植物園北門前 TEL (075)722-3399・FAX (075)702-9440
9:00AM~9:00PM 年中無休(喫茶10:00AM~8:30PM) <http://www.malebranche.co.jp/>